

今月は2011年に再版された日本のSF小説をご紹介します。

『宇宙からきたかんづめ』

佐藤 さとる／作 岡本 順／絵 ゴ布林書房 2011年 1365円

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年★☆☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

ある日ぼくはスーパーマーケットでふしぎなかんづめをみつけた。見た目はかんづめだけどなんと中には遠い宇宙からきた何者かが入っているんだ。かんづめに見えるのは宇宙人の休けい所のようなものらしい。宇宙人は地球を調べているという。ぼくはこのかんづめをそうっとしまっておくかわりに、宇宙人が気が向いたときに話を聞かせてもらえることになった。「タイムマシンが川に落ちた」話や「おしゃべりなカビ」の話など宇宙人の話はどれもおもしろい話ばかり。けれどぼくにはずっと気になっていることがあった。かんづめの中は一体どうなっているのだろう。

<子どもに手渡すときのポイント>

この本の初版は1967年なので、もしかしたら子どもの頃お読みになった方もいらっしゃるかもしれませんが。今回は1967年版を底本に、加筆、修正し、判型、挿絵も新たに出版されました。2011年版のあとがきもついています。このあとがきには佐藤氏の児童向けSFについての考えが述べてあり大変興味深かったです。ぜひ読んでみてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。



子ども図書館 重村 さやか